

生育段階の異なるキクタニギクの3次元小花配列の推定

酒井柊斗¹ 内海ゆづ子¹ 岩村雅一¹ 米倉崇晃² 中井朋則³
山内大輔³ 唐原一郎⁴ 峰雪芳宣³ 星野真人⁵ 上杉健太郎⁵ 小塚俊明⁶

¹ 大阪公立大学

³ 兵庫県立大学

⁵ 高輝度光科学研究センター

² 東京大学

⁴ 富山大学

⁶ 金沢大学

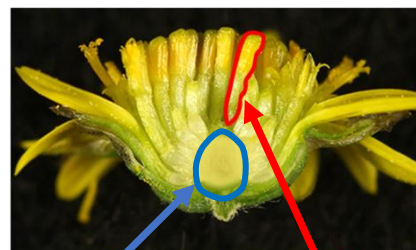
40

研究背景

植物の花床が成長して形状が変化
⇒ 小花配列への影響が分かっていない

生育段階の異なるキクタニギクを対象に
接点の3次元配列と花床形状を推定

キクタニギクの器官配置

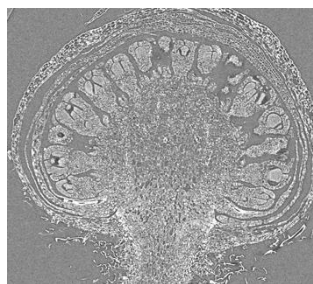


花床

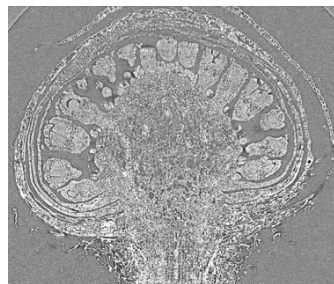
小花

対象データセット

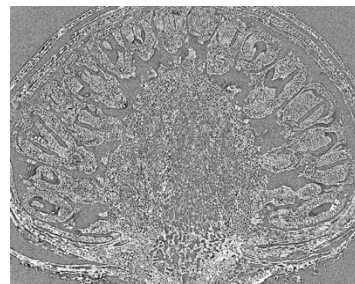
生育段階の異なるキクタニギクのサンプル (a), (b), (c)
(a) は茎頂サイズが1.0 mm, (b) は1.5 mm, (c) は2.0 mm



サンプル (a)

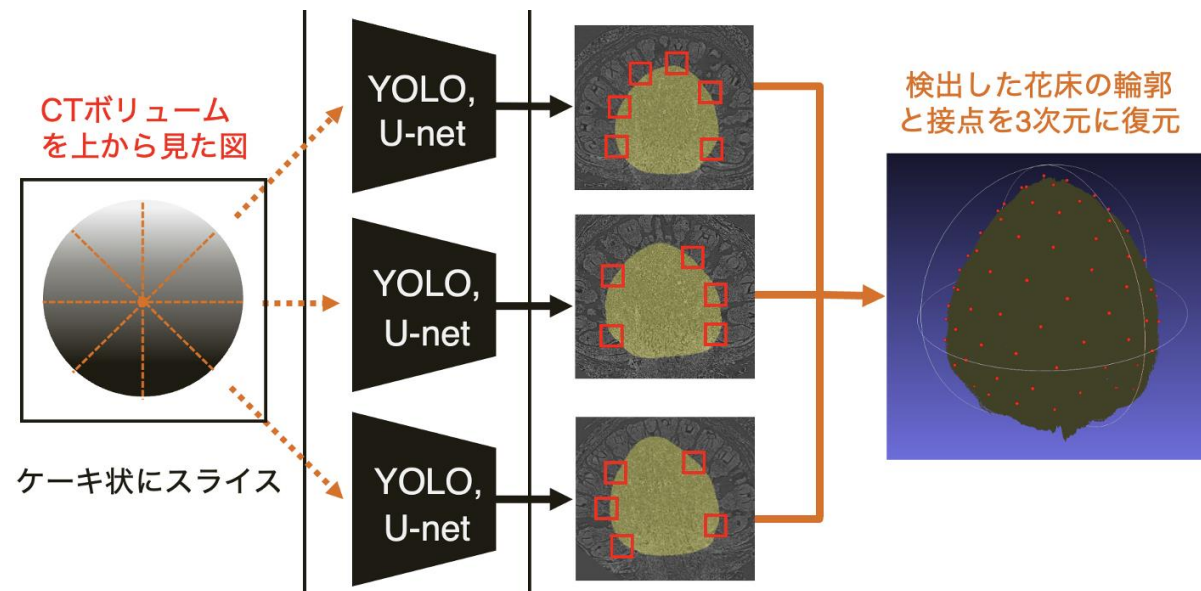


サンプル (b)



サンプル (c)

提案手法



結果はポスターで紹介